

冬期特別展

開運! 招福! 相州だるま

2月6日(日)まで開催中

■開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

■会場 特別展示室



◆相州だるまのルーツを探る

写真は平塚市四之宮の諸伏隆也さん宅の神棚に飾られた相州だるまです。向かって左は相州特産の金目だるま、右のだるまは現在91歳の隆也さんが生まれる以前から諸伏家の神棚に飾られているだるまです。

隆也さんの話によれば、このだるまは四之宮の長嶋幸太郎さん(本家長嶋達磨店の当主・國男氏の祖父で明治38年に42歳で没)が八王子の方から4つほど仕入れて持ち帰っただるまの1つです。これよりも大きなだるまがあったのですが、諸伏家の神棚に収まらなかったためこのだるまをいただいたそうです。

幸太郎さんが持ち帰ったとしたら100年以上前のだるまです。幸太郎さんは父親が諸伏家から長嶋家へ婿に入った関係で、諸伏家へこのだるまを差し上げたのです。100年以上前とは思えぬきれいなだるまなのは、定期的に本家長嶋達磨店で塗り直しをしているからです。イロリで火を焚いていた当時は黒く煤けてしまうので毎年塗り直しました。現在はさほど汚れないので7～8年に一度です。ヒゲや眉は現在の描き方ですが、衣部は中央に「福入」の文字が入らず、金線模様も昔風に描かれています。長嶋家は、当初、こうして多摩から仕入れた製品をもとにして木型を彫りました。ですから、このだるまは相州だるまの原点ともいえるべき、記念すべきだるまなのです。

さて、当時、長嶋幸太郎さんはどこからだるまを仕入れていたのでしょうか。昭和7年刊行の木戸忠太郎著『達磨と其諸相』をひもとくと、「八王子地方へ商旅の帰途、村山村、岸の伊勢屋から多摩達磨を仕入れて供給して居たものだが、明治14、5年頃需要も漸次増加して来た上に、伊勢屋と四之宮の長嶋の間に縁が結ばれたことが動機となり、土地でも製作を始めるようになったのである」と記されています。村山村岸というのは現在の東京都武蔵村山市岸です。岸の伊勢屋は荒田という姓で、明治維新頃から独自にだるまをつくり始めたというだるま屋です。この伊勢屋と長嶋家の間に縁が結ばれたことで多摩から製法がもたらされ、相州だるまが誕生したということになります。幸太郎さんの妻は旧姓乙幡クニさんといい、長嶋家ではクニさんはだるま屋の娘であったとも伝えています。

伊勢屋は終戦後に廃業してしまいましたが、伊勢屋の弟子だった内野氏が明治後期に独立し、現在も瑞穂町でだるまをつくっています。長嶋家と内野家はだるまを卸したり、仕入れたりといった付き合いがありました。金目だるまのルーツは多摩ですが、多摩の現役8軒のだるま屋で内野家だけがつくっています。写真のだるまを見比べてみてください。長嶋家の古いだるまと眉・ヒゲ・口の形、金線模様がどこことなく似ていませんか。現在の相州だるまはもっと繊細かつ賑やかに描かれますが、むかしはこのような素朴な筆致でした。特別展では、こうして文献と伝承からたどったルーツを実物で検証する試みもしています。注目してみてください。



少し昔の本家長嶋達磨店のだるま
(中村浩訳氏 蔵)



瑞穂町の内野家のだるま
(武蔵村山市立歴史民俗資料館 蔵)

特別展関連行事のご案内

■相州だるまの絵付け教室

市内のだるま屋さんの指導であなただけのオリジナルだるまをつくります。

日 程：1月9日（日） 指導：長嶋福ダルマ物産
2月6日（日） 指導：本家長嶋達磨店

時 間：各日とも1回目 10時～12時
2回目 13時～15時

会 場：博物館講堂

参 加：自由(申込不要)

定 員：各回先着15名。10分前から受付開始します。

材料費：1,000円

その他：少々汚れてもかまわない格好でお越しください。

■特別展示解説ツアー

日 時：1月23日（日）14時～15時

解説者：浜野達也（当館学芸員）

会 場：特別展示室

参 加：自由



12月4日に実施した絵付け教室

■記念講演会

「だるまはなぜ赤い？ー達磨の起源を語るー」

日本有数のだるまコレクター中村さんがだるまのすべてを語ります。

日 時：1月15日（土）14時～15時30分

講 師：中村浩訳氏（全日本だるま研究会）

会 場：博物館講堂

参 加：自由

行事参加者募集

○考古学入門講座「土を読む 2」

考古学を基礎から学んで楽しむ「考古学入門講座」。今年度は発掘調査で避けて通ることができない『土』の話。2回目は平塚の土に注目します。

日 時：1月30日(日) 14時～15時30分

会 場：博物館講堂

定 員：40人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで1月21日(金)までに申し込む。

○自然教室「春を探そう」

冬芽など、春を待つ生きものの様子を観察します。

日 時：2月26日(土) 13時～15時

場 所：吉沢

定 員：15人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで2月16日(水)までに申し込む。

○星まつりを調べる会「星の道標を歩こう」

中国・日本式の星座名の入った二十八丁の道しるべをたどります。

日 時：3月5日(土) 10時～15時

場 所：大雄山最乗寺参道(南足柄市)

定 員：20人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで2月15日(火)までに申し込む。

◎ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を語ります。

日 時：1月16日(日) (1)13時20分 (2)15時

場 所：展示室1階「相模の家」

参 加：自由(申込不要)

◎「体験！3Dデジタル宇宙」

最新の天文学の成果をもとに国立天文台で開発された立体デジタル宇宙ビューワー「MITAKA」を使って、地球から宇宙のはるかかなたまで飛びまわりながら、最新の宇宙をながめます。

日 時：1月29日（土）11時、14時 各30分

会 場：博物館講堂

参 加：自由(申込不要)

定 員：先着各30名(10分前から受付開始)

◆申込方法◆

申込制行事に参加を希望する方は、それぞれの行事につき、往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して締切日（必着）までにお申込みください。

1 月

1	土	休	館	日	
2	日	休	館	日	
3	月	休	館	日	
4	火				
5	水				
6	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
7	金				
8	土	星まつりを調べる会 地質調査会	博物館・市内 科学教室		
9	日	◎相州だるまの絵付け教室	講 堂		
10	月				
11	火	休	館	日	
12	水				
13	木	石仏を調べる会	特別研究室		
14	金				
15	土	◎特別展記念講演会「だるまはなぜ赤い？」 ◎ろばたばなし	講 堂 相模の家		
16	日	平塚の古代を学ぶ会	講 堂		
17	月	休	館	日	
18	火				
19	水	民俗探訪会 裏打ちの会	特別研究室 科学教室		
20	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
21	金	古文書講読会	講 堂		
22	土	古代生活実験室	科学教室		
23	日	水辺の楽校生きもの調べの会 ◎冬期特別展示解説ツアー	野 外 特別展示室		
24	月	休	館	日	
25	火				
26	水				
27	木	石仏を調べる会	特別研究室		
28	金	古文書講読会	講 堂		
29	土	◎体験！3Dデジタル宇宙 お雛子研究会 地域史研究ゼミ 天体観察会 平塚の空襲と戦災を記録する会	講 堂 講 堂 特別研究室 博物館屋上 特別研究室		
30	日	◎考古学入門講座「土を読む 2」 地質調査会 天体観察会	講 堂 科学教室 博物館屋上		
31	月	休	館	日	

冬期特別展「開運！招福！相州だるま」12月4日～6日
寄贈品コーナー「木地だるま」1月4日～6日
プラネタリウム投影機更新工事のため1月2日～27日休演

2 月

1	火				
2	水				
3	木	展示解説ボランティアの会	講 堂		
4	金	古文書講読会	講 堂		
5	土	星まつりを調べる会 天体観察会	野 外 平塚海岸		
6	日	◎相州だるまの絵付け教室	講 堂		
7	月	休	館	日	
8	火				
9	水				
10	木	石仏を調べる会	科学教室		
11	金	古文書講読会	講 堂		
12	土				
13	日	地質調査会 平塚の古代を学ぶ会	科学教室 講 堂		
14	月	休	館	日	
15	火				
16	水	民俗探訪会 裏打ちの会	講 堂 科学教室		
17	木	展示解説ボランティアの会	講 堂		
18	金	古文書講読会	講 堂		
19	土	古代生活実験室 相模川の生い立ちを探る会	科学教室 講 堂		
20	日	◎ろばたばなし 水辺の楽校生きもの調べの会	相模の家 野 外		
21	月	休	館	日	
22	火				
23	水				
24	木	石仏を調べる会	科学教室		
25	金	古文書講読会	講 堂		
26	土	お雛子研究会 ◎自然教室「春を探そう」 地域史研究ゼミ 平塚の空襲と戦災を記録する会	講 堂 吉 沢 科学教室 科学教室		
27	日	地質調査会	科学教室		
28	月	休	館	日	

「開運！招福！相州だるま」
寄贈品コーナー「平塚の城館」2月2日～27日休演

○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展 示

☆冬期特別展「開運！招福！相州だるま」
新旧相州だるまの数々や木型等の製作工程、多摩や全国各地のだるまを展示します。
会 期：12月4日(土)～2月6日(日)
会 場：博物館特別展示室

◎記念講演会「だるまはなぜ赤い？－達磨の起源を語る－」
日 時：1月15日(土) 14時～15時30分

◎相州だるまの絵付け教室
日 時：1月9日(日)、2月6日(日)の10時～と13時～

◎特別展示解説ツアー
日 時：1月23日(日) 14時～15時

*いずれも参加自由(詳細は3頁をご覧ください)

☆寄贈品コーナー
「木地だるま」
特別展にちなみ、館蔵の本間満・木地玩具コレクションから東北地方を中心とする木地だるまの数々を展示します。
会 期：1月4日(火)～30日(日)

「平塚の城館」
内 容：平塚市内の城と館を紹介します。
会 期：2月2日(水)～2月27日(日)

*プラネタリウム休演のお知らせ
投影機更新工事のため、プラネタリウムを休演します。

あなたと博物館 38巻10号 通算409号 発行 平塚市博物館 2200
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/